

フィリピン 褐変しないバナナが非GMOステータスを取得

[PRODUCE BUSINESS UK 2024年7月5日](#)

英国を拠点とするトロピックバイオサイエンス社(Tropic Biosciences、以下「トロピック社」)は、同社の褐変しないバナナが、フィリピン農業省植物産業局から非遺伝子組み換え生物のステータスを得たと発表した。

これでこの遺伝子組み換え(GMO)バナナは、フィリピンに輸入し、同国内で生産できるようになった。同国は、東南アジア最大の、またエクアドルに次ぐ世界第2位のバナナ輸出国であるが、ここ数年、病気によってその生産量は大幅に減少している。

ノーリッチ・リサーチパーク(英国)で事業を展開するトロピック社の最高技術責任者であるオフィル・メリア博士は「フィリピン政府は、科学的根拠に基づいた透明性のある効率的な手順により、遺伝子編集された植物の安全性評価を実施した。これはまさに、トロピック社のような企業に対し、フィリピンの生産者のためになる持続可能な解決方法を開発するために革新的な技術に投資するよう奨励する制度である」と述べた。

トロピック社は、CRISPR-Cas9遺伝子編集システムを使用して、食品廃棄物を削減するだけでなく、世界中で壊滅的な打撃を与えているパナマ病熱帯株4(TR4)に対する耐性を持つバナナを作り出している。同社によると、毎年60%以上のバナナが廃棄されており、褐変しないバナナは、この数字を25%以上削減できる。

トロピック社の褐変しないバナナにステータスを与えるという決定は、同社が将来新しい製品を発表する扉を開く可能性がある。同社は、「弊社はより健康的で、より丈夫で、高性能な熱帯作物の品種開発に専念している」としている。現在の対象作物は、バナナ、コーヒー、イネである。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

米国カリフォルニア州 生食用ブドウの収穫は7月中旬から

[FreshPlaza 2024年7月8日](#)

カリフォルニア州産生食用ブドウは、米国及び世界中の市場で大いに期待されている

マウンテンビュー果実販売会社は、同社のブドウの収穫シーズンが現時点で今月半ばから予定されていると発表した。同社のエステートヴィンヤーズ®商標の生食用ブドウは、黒、赤、緑の品種が販売される。同社の生産と販売の担当者であるジョージ・マトイアン氏は、「今年の収穫が並外れた品質のブドウを提供することは間違いない。最初に収穫する品種は果粒のサイズが最大である」と話す。

同氏はまた、「エステートヴィンヤーズ®の商標は卓越した品質の代名詞となっており、今年の収穫も例外ではない。細心の注意を払って献身的に栽培された弊社のブドウは完璧に育てられ、それぞれの房が味、食感、外観の高い基準を確実に満たしている」と述べた。

猛暑に備える 同社のチームは、今年のブドウの収穫に大変期待している。生育期の天候は良好だが、カリフォルニア州は現在熱波に見舞われており、今後数週間は高温が予想されている。マトイアン氏は、「これに対抗して果実への影響を抑えるため、熱波が予想される期間中にブドウをバランスの取れた状態に保てるよう、ブドウの木の栄養管理プログラムを強化するとともに、再度摘果を行って着果量を減らした。これらの細心の注意を払った栽培方法を実行することで、ここ数年で最高の部類のブドウを生産する計画だ」と語った。

同社は、エステートヴィンヤーズ®商標のブドウが品質へのこだわりを真に反映していると考えており、顧客に喜んでもらえることを期待している。収穫期が近づいているため、同社のチームはこれらのプレミアムな生食用ブドウを国内外の消費者に楽しんでもらえるよう、様々な小売市場に流通させる準備に力を入れている。同社のブドウの約70%は国内市場にとどまり、残りの30%は世界中に輸出される。米国以外では、カナダ、メキシコ、台湾、香港、韓国、ベトナム、マレーシア、日本、中米諸国及びシンガポールで同社の生食用ブドウが賞味されている。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)